

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立南稜高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が示されている学校像である。学校の現状や課題などを踏まえて概ね適切に設定されているが、次のステージに向けた学校像を模索していただき、更に魅力あるものにしていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	取り組むべき課題が具体的に示され、四つの柱として設定されている。学校関係者などの意見や要望、様々な資料を反映した、中期的な目標としてふさわしいものとなっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌・学年等が連携し、学校自己評価システムが組織的かつ適切に運営されている。重点目標の達成に向けて学校関係者の意見などがうまく活用された取組となっている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	方策と評価指標を設定するに当たり、職員会議などで教職員間の共通理解が図られ、前年度に比べ整理されている。評価指標が教職員間で達成イメージを共有できるものとして工夫されており、中間評価を行うなど、具体化された方策が組織として計画的に実施されている。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長の意向が教職員に示されており、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組んでいる。校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題や改善策が示されている。各種アンケートの工夫を進め、更に学校関係者の意見やアンケートの結果等を分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			